

苫小牧市立清水小学校学校便り

清水の子



『未来を創造する
清水の子の育成』
◇学びを広げる子
◇思いやりあふれる子
◇たくましさみなぎる子

TEL 33-7285
Eメール simizu-es1@hokkaido.school.ed.jp
第 8 号 令和 5 年 1 0 月 2 5 日 発行

11月は「親子読書」強調月間

10月27日(金)～11月9日(木)は全国秋の読書週間です。毎年、秋の行事の一つとして全国秋の読書週間は、終戦まもない1947年(昭和22)年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、新聞・放送のマスコミ機関も加わって始まり、日本は世界有数の「本を読む国民の国」になりました。今では、秋の行事の一つとして定着しています。

また、苫小牧市では11月を親子読書強調月間としています。苫小牧市の親子読書は、家庭や図書館等で親子がともに本を読み、感想を話したり、お勧めの本を伝えたりする中で、親子のコミュニケーションを広げ、子どもたちの心の成長を促すことを目的として実施しています。

さて、本校の子どもたちの読書量の現状に目を向けると、清水小の児童は日ごろから本に親しんでいますが、個人差が大きいのも事実です。読書量の個人差は、社会全般の大人にも言えることです。11月の親子読書強化月間の本校の取組として、次のことを予定しています。

① 読書スタンプカードの返却

お子様の図書の出借状況をご確認いただき、読書についてお話をさせていただくと幸いです。

② 家族で読書 親子読書に挑戦の取組

カプセルトイ(ガチャ)を回し、指定されたジャンルの本を図書室から借りて読み、読んだ本をカードに記入します。お子様と借りた本についてお話をいただくと幸いです。

詳細は後日改めてお知らせいたしますが、親子で読書する時間を意図的に設け、取組へのご協力をぜひお願いいたします。

そのほか、苫小牧市立中央図書館でも、親子読書強調月間の取組を実施しています。

電子メディアの発達によって、世界の情報伝達の流れは、大きく変容しようとしています。しかし、その使い手が人間であるかぎり、その本体の人間性を育て、かたちづくるのに、「本」が重要な役割を果たすことは変わりありません。

読書の秋です。忙しくて本を開く時間がなかなかとれないという方もいらっしゃると思いますが、子どもの読書習慣の定着の手助けをお願いするとともに、保護者の皆様も読書の秋を楽しんでみてはいかがでしょうか。そして、読書の秋に催されているさまざまなイベントや仕掛けにより、読書の楽しさをますます実感してほしいと願っています。